

# ☆☆☆小野わかば幼稚園☆☆☆

## まのまちわかばたんけんたいの素敵な冒険

報告：郡山女子大学短期大学部幼児教育学科 柴田卓先生

### ★第7回 2月6日 「冬と雪を満喫しよう！」

小野わかば幼稚園の子どもたちと一緒に、小野町のすばらしさや自然の豊かさを発見するために結成した『おのまちわかばたんけんたい』の2年目も、最後の活動となりました。

第7回は「冬と雪を満喫しよう！」というテーマのもと、澄みきった青い空と白銀の世界で、最終回にふさわしい1日となりました。

バスから降りた子どもたちは、早く遊びたいという気持ちを抑えきれないようす。雪だるまをたくさん作る子、チューブのソリや幼稚園から持ってきたソリを楽しむ子、横になってコロコロと転がる子、看板の溝に雪を埋め込んで雪文字を楽しむ子など、多様な遊びが展開されました。

存分に雪遊びをしたあとは、今日の朝にこの森で遭遇した動物は何かという「動物クイズ」や冬になると木の芽が顔に見えるから探してみようという「冬芽ミッケ！」を説明し、冬の森探検がスタート。雪の雑木林を進んで行くと、数人の子どもたちが冬芽を発見。周りにいた子どもたちも影響されて「冬芽ミッケ」が白熱すると同時に「動物の足跡ミッケ」も自然に発生して盛り上がりました。

冬の森を満喫して広場に戻ると、次は雪上でのお昼ご飯です。冬の真っ青な空の下、おいしいお弁当を食べました。なんと、その後、子どもたちから素敵なプレゼントをいただきました。たんけんたいの皆さん、ありがとうございます。そして、無事最終回が終了しました。

1年間の活動を振り返ると、子どもたちがそれぞれに目を輝かせ、自分のやりたいことを見つけて没頭し、友達と協働し、試行錯誤しながらその遊びを深めていく姿をたくさん見ることができました。こうした姿こそ、豊かな自然環境が与えてくれる、大切な学びと経験なのだろうと思います。たんけんたいを通して、あらためて小野町はこの大切な学びや経験を保証する自然環境が豊富であると実感しています。その学びや経験が子どもたちにとって、かけがえのない宝物であり、この宝物をいつまでも大切にできる、すてきな大人に成長してくれることを願い、今年度の報告を終わります。

最後に、洗濯物を増やしてしまった保護者の皆さん、バスの運転手さん、小野わかば幼稚園職員の皆さん、1年間ありがとうございました。



ぼくたち わたしたち

『おのまちわかばたんけんたい』

今日はどんなところに行くのかな？  
たんけんたいの日は、ウキウキでバスに乗ったよ。池でかえるの観察をしたよ。へびに会うかも？ドキドキしたね。みんなで登った高柴山、頂上目指して歩いたね。自分のことが自分でできるようになったよ。たくさんの発見をしたよ。ハチにあっても慌てないよ。からだが強くなったよ。小野町が好きになったよ。

お母さん、いつもおいしいお弁当ありがとうございます！これからも「たんけんたい」の一員として、いろいろなことに挑戦していくよ！